パイプシステム通信

For Earth, For Life
Kubota

No.22
2025年1月（隔月発行）

あけましておめでとうございます。
本年も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。
2025年の干支は「乙巳（きのとみ）」です。「乙」は十干の2番目で、「軋（きしむ）」を意味し、未だ発展途上の状態を表しており、「巳」は十二支の6番目で蛇を表し、植物が最大限まで成長した状態を意味しています。この組合せは、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆していると言われています。
すぐに結果が出なくても、焦らず粘り強く取り組んで、着実に前進することで最終的に結果に結びつく年になるといいですね。
パイプシステム通信 編集部

動画のご紹介

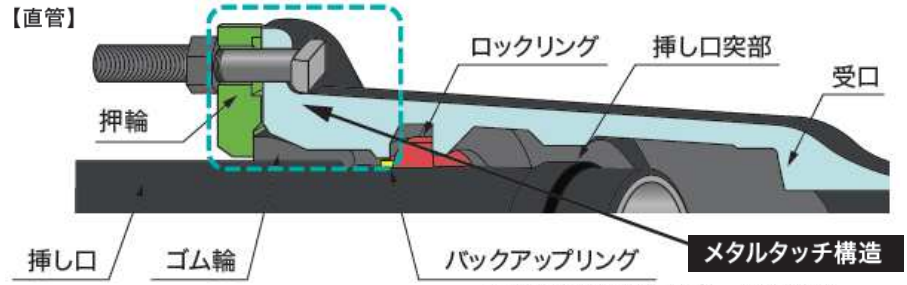
弊社ホームページでは、2024神戸水道展で放映した「管路の耐震化及び維持管理のトータルソリューション」動画を公開しています。
弊社が取り組む管路の耐震化促進と維持管理業務の効率化を支援するソリューションをぜひ動画で体験してください。



https://www.kubota.co.jp/product/ironpipe/products/movie/

GX形ダクタイル鉄管 呼び径500～600 販売開始！

2025年1月からGX形ダクタイル鉄管（呼び径500～600）の販売を開始しました。本製品はメタルタッチ構造を採用しており、トルク管理・面間距離管理が不要で、簡単かつ正確な施工管理を実現します。また、管下ボルトレス押輪で管下の作業が不要となりました。ボルトの本数が半減し、電動工具の使用も可能になったことで、NS形と比較して直管の接合時間を約1/2に短縮することができます。直管は、全数弊社阪神工場の電気炉で、CO_2を削減した製法で生産しています。施工性が大幅に向上した本製品にご興味がございましたら営業担当者までご連絡ください。







声 施工情報システムⅡ採用の声

at 兵庫県

今年度、弊社が実施したダクタイル鉄管GXφ75～150工事で施工情報システムⅡを採用しました。このアプリは、継手接合チェックをガイダンスに従って順番に行わなければ次に進めない機能を備えています。また、品質管理基準が不明な場合は、ヘルプ機能があるため若手作業員も熟練者同様の施工管理を実現できたと感じています。さらに、サイトチェッカーを使用すると、自動でゴム輪の位置をアプリ上で計測記録し、すぐに異常を発見することができるため、特に管下の継手の接合状態を確実に確認することができました。現場でアプリに情報入力することで、チェックシートが即座に完成し、従来の手書きの書類作成に比べて事務作業時間が大幅に短縮されました。具体的には、これまで１時間かかっていた書類の作成作業を効率化することができました。
改善要望もありますが、今後は大口径の配管工事にも施工情報システムⅡを使用し、デジタル機器を活用した施工管理を社内で標準化していきたいと思います。



<株式会社大城工業所　平岡　晶義　様>

声 残留塩素濃度管理システム

at 大阪府摂津市

摂津市上下水道部は、水質管理の向上と効率化を目的に、クボタの残留塩素濃度管理システムの導入に向けて検討しております。このシステムは、任意に設定した残留塩素濃度を下回るとバルブを開けて排水を開始し、濃度が回復すると自動停止します。
摂津市では工場や事業所が多く、休日になると使用水量低下により管内水の停滞がおき残留塩素低下の課題を抱えており、末端排水による残塩濃度の調整作業が職員の大きな負担となっていました。クボタの残留塩素濃度管理システムは設定した残塩濃度を下回った際に自動で排水操作を行うため、職員が現地へ出向いて排水作業をする必要がなく、職員の負担軽減に寄与するものとして評価しています。
また、職員の負担軽減に加え、設定した残留塩素濃度に達した時点で排水を停止することができるため、排水量の抑制にも期待しています。さらに、現地の残塩濃度データは、遠隔でリアルタイムに閲覧可能であるため、今後はマッピングシステム画面から各地点の残塩濃度を監視するなど現場とシステムの連携を検討していく予定です。

<摂津市上下水道部 様>

株式会社クボタ　パイプシステム事業部